

10 公益財団法人名古屋市文化振興事業団

令和2年7月1日現在

令和2年7月1日現在

設立年月日	昭和58年7月1日	代表者氏名	理事長 杉山 勝				
所在地	名古屋市中区栄三丁目18番1号			電話番号	052-249-9390		
ホームページアドレス	http://www.bunka758.or.jp/						
資本金・基本金	60,000千円	市出資・出捐金	30,000千円	(50.0%)			
所管部局	観光文化交流局文化歴史まちづくり部文化振興室			電話番号	052-972-3172		
設立目的	名古屋市民の文化・芸術の振興に資する事業を行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与することを目的とする。						
主な事業	事業名	令和元年度 事業費	事業の概要				
	名古屋市文化施設の管理	1,533,879千円	文化施設等の運営管理（公益目的事業）				
	文化事業	322,900千円	文化事業の実施、支援、情報提供				
	名古屋市文化施設の管理	248,417千円	文化施設等の運営管理（その他事業）				
役職員数		常勤非常勤					
	役員数	2人	(うち市派遣)	0人	(うち市OB) 2人	10人	
	職員数	94人	(うち市派遣)	3人	(うち市OB) 0人	24人	
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		5,609千円	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		5,811千円	正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)	41.9歳
		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
市からの財政支出	委託料	250千円	736千円		2,255千円		
	内 随意契約金額	(250千円)	(736千円)		(2,255千円)		
	補助金	220,081千円	212,357千円		202,070千円		
	指定管理料	1,190,761千円	1,258,370千円		1,348,900千円		
	貸付金 (年度末残高)	0億円	0億円		0億円		
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益	2,152,507千円	2,179,420千円		2,195,222千円		
	経常費用	2,076,980千円	2,105,867千円		2,130,151千円		
	経常利益（損失）	75,527千円	73,553千円		65,071千円		
	当期利益（損失）	75,207千円	74,099千円		66,011千円		
貸借対照表	総資産	1,878,784千円	2,010,461千円		2,023,293千円		
	内 流動資産	(981,503千円)	(1,000,145千円)		(933,016千円)		
	内 固定資産等	(897,281千円)	(1,010,316千円)		(1,090,277千円)		
	総負債	644,969千円	689,067千円		636,323千円		
	内 流動負債	(376,445千円)	(407,002千円)		(372,170千円)		
	内 固定負債等	(268,524千円)	(282,065千円)		(264,153千円)		
	純資産（正味財産）	1,233,815千円	1,321,394千円		1,386,970千円		

経営に関する指標（共通指標）

10 公益財団法人名古屋市文化振興事業団

○法人の自立性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
市からの収入割合	$\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	67.5%	70.8%	+3.2%
市との随意契約比率	$\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	100.0%	100.0%	0.0%
		令和元年7月1日現在	令和2年7月1日現在	対前年度増減
市職員の役員就任割合	$\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	8.3%	8.3%	0.0%
固有職員比率	$\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	96.6%	96.8%	+0.3%
○組織運営の効率性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
管理費比率	$\left(\frac{\text{管理費}}{\text{経常費用}} \right)$	1.0%	1.1%	+0.3%
○財務の健全性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
自己資本比率	$\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	65.7%	68.6%	+2.7%
流動比率	$\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	245.7%	250.7%	+5.0%
固定長期適合率	$\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	63.0%	66.0%	+3.0%
借入金依存度	$\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金(欠損金)	$\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{-基本金・資本金}} \right)$	1,261,394千円	1,326,970千円	+65,576千円

○ 経営戦略計画 (H29～H31) の概要

経営戦略方針
ア 市民とともに名古屋市の文化芸術を育みます。 イ 文化活動拠点となる指定管理施設を確保します。 ウ 環境変化に対応できる安定的な経営基盤を築きます。 エ 文化芸術に関する専門的人材を育成します。

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	31 目標値	31 実績値
・名古屋市の文化振興 「名古屋市文化振興計画2020」に基づいて、事業団が期待されている役割を果たすため、地元文化人・文化団体や関係機関とのネットワークを生かして、魅力ある文化事業を展開します。これらの取り組み等を積極的に情報発信することにより、事業団の知名度・ブランド力向上に取り組めます。 【公共サービスの充実】	文化事業の好評価率の向上(%)	89.0	92.2
	ボランティアの登録者数の増加(人)	380	383
・効率的・効果的な運営の実施 自主・自立的な持続性ある財団運営を推進するため、施設の利用率の向上、職員の業務改善・提案力の向上、臨機応変な組織体制の推進等、効果的・効率的な運営に取り組めます。 【効率性の発揮と成果】	大中規模ホール利用率の向上(%)	84.2	82.8
	文化小劇場ホール利用率の向上(%)	85.4	83.9
・収支率の向上 自立的な財団運営を推進するため、利用料金収入の増収・入場料収入の増収、企業からの協賛金・広告料収入の獲得等、自主財源の確保に取り組めます。また、併せて各施設の管理運営に要する経費の抑制に取り組むことで、収支率の向上を図ります。 【財務内容の改善・向上】	利用料金収入の増収(千円)	499,786	453,395
	入場料収入の増収(千円)	96,766	67,089
・職員の専門性・信頼性の向上 「名古屋市文化振興計画2020」に基づき、文化人・文化団体の活動を積極的に支援するため、専門的・個別的ニーズに効果的に対応できる企画力・技術力等を備えた人材を育成します。 【人材力・現場力の強化】	アートマネージャーの増員(累計)(人)	15	23
	外部資格取得者数・外部研修受講者数の増加(年間)(人)	73	77